


報道発表資料の配付日時 2月9日(月) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和7年度「北海道男女平等参画チャレンジ賞」 受賞者の決定及び贈呈式の開催について【知事出席行事】		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女平等参画社会の実現に寄与することを目的として、社会のあらゆる分野で個性と能力を生かしてチャレンジし、活躍している方々や、そうしたチャレンジを支援している方々を表彰する「北海道男女平等参画チャレンジ賞」について、令和7年度(2025年度)の受賞者を決定しました。 <p>1 受賞者</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿部 美子 氏(札幌市) 徳星 真優 氏(札幌市) 近藤 緑 氏(乙部町) <p>2 贈呈式</p> <p>(1) 日時: <u>令和8年(2026年)2月12日(木) 15:00~</u> (30分程度)</p> <p>(2) 場所: 本庁舎3階知事会議室(札幌市中央区北3条西6丁目)</p> <p>(3) 贈呈者: 北海道知事</p>		
参考	<ul style="list-style-type: none"> 受賞者等詳細については、北海道道民生活課女性支援室ホームページからご覧いただけます。 道ホームページURL https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/djb/challengeprize/challe_top.html 		

報道(取材)に当たってのお願い	取材のお申し込みについては、2月10日(火)までに下記担当者まで御連絡ください。		
他のクラブとの関係	同時配付	道政記者クラブ	
	同時レク	檜山振興局記者クラブ	

担当 (連絡先)	環境生活部くらし安全局道民生活課女性支援室(担当者:主幹 矢嶋) TEL ダイヤルイン: 011-206-6954(内線 24-174) 公用スマホ: 011-585-6101(内線 13394)		
-------------	--	--	--



北海道知事
鈴木 直道

「北海道男女平等参画チャレンジ賞」は、本道において男女平等参画社会の実現に向けた気運を高めていくため、職場、地域、家庭など社会のあらゆる分野で特に顕著な活動をされている方々を讃えるとともに、多くの人にとって身近なモデルとなるように、その活動を広くご紹介しています。

今年度は、ララプラスキッチンの阿部美子トゥーピーオー様、to be O マーケット実行委員会代表の近藤緑様、いろいろにじいろ屋の徳星真優様に本賞をお贈りいたします。受賞された皆様が、それぞれご自身の経験や専門知識などを生かして活動されていることに深く敬意を表し、今後ますますのご活躍を心からお祈りいたします。

道では今後とも、道内各地でチャレンジされている方々を応援してまいります。

北海道男女平等参画チャレンジ賞

職場、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野で、それぞれの個性と能力を生かしてチャレンジし、活躍している個人、団体・グループ、女性の活躍応援自主宣言を実施している企業及びそのようなチャレンジを支援している団体・グループ、女性の活躍応援自主宣言を実施している企業を顕彰し、チャレンジの身近なモデルを示すことによって、男女平等参画社会実現への気運を高めることを目的としています。自薦・他薦を問わず候補者を募集しています。賞の種類は次のとおりです。

- ・ 輝く北のチャレンジ賞
- ・ 輝く北のチャレンジ支援賞

審査講評

北海道男女平等参画審議会専門部会長

北海道経済連合会 労働政策局長 池田 幸司

令和7年度北海道男女平等参画チャレンジ賞を受賞された皆様に、心からお祝い申し上げます。

今年度は、地域において様々な形で活躍し、男女平等参画社会の実現に資する活動を行う個人、団体に加え、女性の活躍応援自主宣言企業も対象となり、例年以上のご応募をいただきました。そのどれもが魅力的な活動でしたが、その中から自身の経験や知識を活かし、キッチン空間のアドバイスをを行っている阿部美子様、地元乙部町で地域活性化に貢献されている近藤緑様、包括的性教育を広める活動を行う徳星真優様を選考させていただきました。

今回、受賞された皆様の取組は、今後まご活躍の場を大きく広げ、地域や社会を明るく照らしてくれるような可能性を感じました。これからも、皆様がますますご活躍され、何かにチャレンジしたいと考えている方々のロールモデルとなることを期待しています。

受賞者による活動紹介

輝く北のチャレンジ賞

あべ よしこ
阿部 美子 氏(札幌市)
ララプラスキッチン

8年半にわたり住宅設備機器ショールームに勤務した経験を生かし、「キッチンから幸せな人を増やしたい」という想いのもと、全国で唯一のキッチンに特化したアドバイザーとして、平成24年(2012年)に独立しました。

現在は、個別相談をはじめ、道内市町村や企業での講座を通じて、キッチン環境の改善や暮らしの効率化を支援しています。キッチンを単なる家事の場ではなく、家族の会話や協力が自然に生まれる「暮らしの中心」と捉え、実践心理学や人間工学の視点を取り入れた改善提案を行っています。

これにより、家事負担の軽減や夫婦の協力関係の向上、子どもの主体性の育成につながり、家庭内における男女共同参画の促進に寄与しています。

講座参加者からは、「夫が自然にキッチンに立つようになった」「家庭だけでなく職場でも役立つ内容だった」といった声が寄せられており、無理なく実践でき、再現性・汎用性の高い手法として高い評価をいただいています。

今後は、キッチンを通じて互いを尊重し協力し合う心を育む取組みを、学校教育の場へも広げていきたいと考えています。



輝く北のチャレンジ賞

こんどう みどり
近藤 緑 氏(乙部町)

トゥー ビー オー
to be O マーケット実行委員会 代表

進学を機に上京し、フードスタイリストとして独立しましたが、実家の家業や両親を支えるため、乙部町に活動拠点を移しました。

地元に戻ってからは、実家の家業を手伝いながら、料理教室の開催、特産品である海産物や大豆を使用したレシピの公開等、フードスタイリストとしての活動だけでなく、「自分たちらしく楽しく暮らしたい」「見たい世界を自分たちで作ろう」という考えを元に、「to be Oマーケット実行委員会」を立ち上げ、町内外を問わず出店できるマルシェの企画・運営を行っています。多くの人に来ていただけるよう、町の社会福祉協議会と連携し、無料送迎サービスも提供しています。

また、地元有志と協力し、令和6年(2024年)には、30年ぶりに地元行事「しびの岬桜まつり」を復活。地域の伝統文化「三鹿獅子舞」のステージ企画やユニバーサルスポーツのモルック大会の同時開催等、年齢や性別を問わず楽しめる工夫を凝らした様々なイベントの企画・運営もを行っています。

今後も、地域の皆様楽しんでいただける場を提供していきたいと考えています。



輝く北のチャレンジ賞

とくぼし まゆ
徳星 真優 氏(札幌市)

いろいろにじいろ屋

以前は東京・関東を中心に仕事をしていたのですが、妊娠・出産を機に、地元札幌市にUターン移住をしました。

「母親」という役割に縛られる息苦しさを感じていた中、LGBTQや様々なマイノリティの人が暮らしやすい社会にいくために行われるイベント「さっぽろレインボープライド」との出会いが私に自分らしく活躍する場を与えてくれました。

現在は、個人事業で人権尊重・ジェンダー平等を土台とした包括的性教育を多くの人に広める活動を行っています。

性教育が十分に扱われない現状に対して、道内市町村の教育委員会等と連携した取組や、乳幼児～中学生を対象とした出前授業、ワークショップ、保護者・教職員向けの講座、研修、自主イベントを開催しています。

今後は、行政・学校の制度の間をつなぐ存在として、学校・行政・地域を繋ぐ役割を果たしたいと考えており、誰もが「わたらしく、あなたらしく」生きていける社会を目指して活動の幅を広げていきたいと考えています。

